



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東  
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,688	△16.0	74	△52.1	△7	—	△33	—
29年3月期第1四半期	3,200	△7.3	154	△43.9	127	△48.4	195	15.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △21百万円(—%) 29年3月期第1四半期 157百万円(△3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△1.47	—
29年3月期第1四半期	8.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	34,684	15,071	43.5
29年3月期	35,094	15,295	43.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 15,071百万円 29年3月期 15,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	9.0	9.0
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,750	5.1	610	45.9	580	63.8	520	28.4	23.12
通期	13,290	3.0	1,110	52.9	990	61.5	670	19.2	29.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	22,500,000株	29年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	4,571株	29年3月期	4,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	22,495,429株	29年3月期1Q	22,495,479株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢の改善が進むなか景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要マーケットとなる遊技場業界は、昨年12月を期限として実施した「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去後も設備投資全般に対し極めて抑制的な状況が続きました。

また、「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」いわゆるカジノ法案の議論を契機に大きく浮上してきた遊技プレイヤーののめり込み防止対策に遊技場業界は喫緊の課題として直面していることもあって、リプレイスを含む周辺設備への投資を先送りする傾向が顕著でありました。

このような事業環境の中、当社グループは、開発・製造・販売・アフターサービスの一貫体制をもって付加価値向上に努めると共に、機器事業における周辺設備機器においては、メンテナンスフリーを実現した『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と複数の貸し玉単価にフレキシブルに対応する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。

なお、遊技機においてパチスロ機の新基準機の需要が低調に推移する傾向が続いております。このような市場環境により機器事業全体の収益は前年同期を下回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川県内の太陽光発電所2箇所(発電能力合計4メガワット)と栃木県内に太陽光発電所(発電能力20メガワット)を稼働させております。

コンテンツ事業においては、連結子会社2社/株式会社インターグロー、及び株式会社レッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行いました。

連結子会社/妙高酒造株式会社が主として酒造・酒販事業を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,688百万円(前年同期比16.0%減)、経常損失7百万円(前年同期は127百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円(前年同期は195百万円の利益)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (機器事業)

機器事業は、当第1四半期は売上高2,006百万円(前年同期比17.5%減)、セグメント損失10百万円(前年同期は162百万円の利益)となりました。

## (不動産事業)

不動産事業は、当第1四半期は売上高171百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益80百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

## (電気事業)

電気事業は、当第1四半期は売上高326百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益132百万円(前年同期比23.2%増)となりました。

## (コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、売上高123百万円(前年同期比46.7%減)、セグメント損失6百万円(前年同期は12百万円の損失)となりました。

## (その他事業)

その他事業につきましては、売上高60百万円(5.7%増)、セグメント利益0百万円(前年同期は12百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成29年3月31日)に比べ409百万円減少し、34,684百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、14,498百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少(391百万円減)、電子記録債権の減少(898百万円減)、その他に含まれる未収消費税等の減少(92百万円減)の一方で、現金及び預金の増加(355百万円増)、商品及び製品の増加(637百万円増)、その他に含まれる前払費用の増加(100百万円増)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ185百万円減少し、20,185百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少(99百万円減)、機械装置及び運搬具の減少(142百万円減)の一方で、長期貸付金の増加(134百万円増)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ186百万円減少し、19,612百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少(101百万円減)、長期借入金の減少(146百万円減)の一方で、支払手形及び買掛金の増加(79百万円増)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ223百万円減少し、15,071百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少(235百万円減)によるものです。

この結果、自己資本比率は43.5%と前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,149,924	6,505,278
受取手形及び売掛金	2,009,952	1,618,220
電子記録債権	1,758,612	860,455
商品及び製品	1,050,519	1,687,762
仕掛品	1,069,831	1,076,128
原材料	1,618,255	1,627,773
コンテンツ	25,093	20,694
繰延税金資産	75,798	115,881
その他	968,482	988,446
貸倒引当金	△3,000	△1,920
流動資産合計	14,723,468	14,498,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,491,065	4,391,792
機械装置及び運搬具(純額)	4,782,606	4,640,463
土地	9,404,236	9,415,598
その他(純額)	245,368	217,111
有形固定資産合計	18,923,276	18,664,965
無形固定資産		
ソフトウェア	44,088	41,730
のれん	84,316	80,101
その他	12,477	12,407
無形固定資産合計	140,883	134,238
投資その他の資産		
投資有価証券	275,136	292,086
長期貸付金	611,554	745,554
繰延税金資産	23,474	25,116
長期前払費用	405,983	402,590
その他	317,851	315,364
貸倒引当金	△327,320	△394,320
投資その他の資産合計	1,306,680	1,386,391
固定資産合計	20,370,839	20,185,596
資産合計	35,094,308	34,684,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,478,149	2,557,808
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,451,938	2,350,872
未払法人税等	73,218	59,839
賞与引当金	54,144	68,793
製品保証引当金	14,000	12,000
返品調整引当金	2,018	2,200
その他	396,696	389,603
流動負債合計	6,620,164	6,591,116
固定負債		
長期借入金	11,530,018	11,383,886
リース債務	29,243	24,338
繰延税金負債	16,104	19,997
役員退職慰労引当金	513,038	515,232
退職給付に係る負債	48,609	50,392
長期預り保証金	711,380	699,095
資産除去債務	330,091	328,307
固定負債合計	13,178,486	13,021,249
負債合計	19,798,651	19,612,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,592,879	13,357,407
自己株式	△4,271	△4,271
株主資本合計	15,269,207	15,033,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,449	38,215
その他の包括利益累計額合計	26,449	38,215
純資産合計	15,295,656	15,071,951
負債純資産合計	35,094,308	34,684,317

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,200,290	2,688,758
売上原価	2,526,679	2,160,153
返品調整引当金繰入額	△228	182
売上総利益	673,839	528,423
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	32,369	52,660
販売促進費	59,582	38,445
役員報酬	58,460	54,492
給料手当及び賞与	79,242	61,910
賞与引当金繰入額	17,529	5,677
退職給付費用	8,904	3,467
役員退職慰労引当金繰入額	2,486	2,193
製品保証引当金繰入額	16,000	12,000
貸倒引当金繰入額	684	△1,080
その他	243,598	224,366
販売費及び一般管理費合計	518,858	454,133
営業利益	154,981	74,289
営業外収益		
受取利息	2,345	902
受取配当金	5,420	5,420
その他	19,526	4,288
営業外収益合計	27,292	10,611
営業外費用		
支払利息	25,792	22,231
貸倒引当金繰入額	10,000	67,000
その他	19,273	3,275
営業外費用合計	55,065	92,506
経常利益又は経常損失(△)	127,208	△7,605
特別利益		
固定資産売却益	—	48,178
子会社株式売却益	228,764	—
特別利益合計	228,764	48,178
特別損失		
固定資産除売却損	—	7,950
特別損失合計	—	7,950
税金等調整前四半期純利益	355,972	32,623
法人税、住民税及び事業税	72,242	108,651
法人税等調整額	88,507	△43,015
法人税等合計	160,749	65,636
四半期純利益又は四半期純損失(△)	195,222	△33,012
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	195,222	△33,012



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	195,222	△33,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,486	11,766
その他の包括利益合計	△37,486	11,766
四半期包括利益	157,736	△21,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,736	△21,246
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	2,431,655	166,959	313,214	230,960	57,500	3,200,290	—	3,200,290
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,040	—	41,812	119	52,971	△52,971	—
計	2,431,655	177,999	313,214	272,772	57,619	3,253,262	△52,971	3,200,290
セグメント利益又は損失(△)	162,266	75,086	107,783	△12,713	△12,656	319,766	△164,784	154,981

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益の調整額△164,784千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました、株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの減少額は、報告セグメントから除外した「福祉介護事業」における226,921千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため連結の範囲から除外したことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を報告セグメントから除外いたしました。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	2,006,218	171,755	326,796	123,190	60,797	2,688,758	—	2,688,758
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,925	—	19,793	127	31,846	△31,846	—
計	2,006,218	183,680	326,796	142,984	60,925	2,720,605	△31,846	2,688,758
セグメント利益又は損失(△)	△10,101	80,978	132,742	△6,885	418	197,151	△122,862	74,289

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益の調整額△122,862千円は、主に提出管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。